

資料1 平成31年度 予算編成方針について

1 本市の財政状況

(1) 平成31年度の財政見通し

歳入では、景気回復による給与所得の改善、企業業績の回復で市民税、富山新港火力発電所LNG1号機の供用開始に伴い固定資産税での増収により、市税全体で増収になると見込まれる。地方交付税については、市税の増収の影響や市町村合併による特例措置(合併算定替)の段階的縮減の影響等もあり、減収になると見込んでおり、一般財源の確保については引き続き困難な状況であると捉えている。

一方、歳出では、斎場整備、小杉社会福祉会館の改修改築、コミュニティセンターの整備、旧新湊庁舎跡地の利活用や小学校普通教室等の空調設備の整備等のほか、障害者自立支援給付費をはじめとした社会保障関係費の増加も見込まれ、一般財源の確保については引き続き困難な状況であると捉えている。

2 予算編成方針

(1) 基本方針

全ての事務事業について、有効性・効率性等の観点から実績や効果を徹底的に検証した上で、真に必要な施策に予算が配分されるよう厳格な順位付けを行い、国・県の補助金を最大限活用する等、引き続き財源確保に全力を挙げて取り組むこととする。また、第2次総合計画の着実な推進を予算編成の基本方針に掲げ、市民サービスの質の向上に努めるとともに、引き続き人口増加や将来の経済成長・行財政改革につながる事業等、未来世代に選ばれるまちづくりをさらに加速させることとする。

(2) 重点プロジェクト

第2次総合計画の重点プロジェクト「射水未来創造プロジェクト」を構成する5つの政策分野について、十分配慮した予算編成を行う。

少子高齢化・人口増加に関する政策

安全・安心に関する政策

地域活性化に関する政策

環境に関する政策

人づくりに関する政策

(3) 広域連携による効果的な事業展開

呉西6市が連携して推進する「とやま呉西圏域都市圏ビジョン」に関しては、引き続き、広域的に取り組む方が効果的、かつ効率的であると見込まれる事業を積極的に掘り起こし、関係都市との協議を進めるなど、圏域全体の経済成長や市民サービスの向上を目指す。

3 予算要求について

今後も厳しい財政運営が想定されることから、有料広告やネーミングライツの掘り起こしなど新たな財源の確保に努めるとともに、各種計画に掲げる成果指標に対する評価及び事業の有効性、効率性等を十分に検証し、徹底した点検・見直しを行った上で、次に示した予算要求基準に従って予算要求する。

(1) 経常的経費

平成 30 年度当初予算（一般財源ベース）を上限に要求を認めるが、全ての事業において、ゼロベースからの視点で徹底的に経費を削減した上で要求すること。

(2) 政策的経費

本市の財政状況を踏まえて、中・後期実施計画に掲げた事業をはじめ、全ての事業において必要性等を十分に検証する。その上で、政策的経費については、予算要求額の上限を平成 30 年度当初予算（一般財源ベース）の 95% までとするマイナス 5 %シーリングとする。

(3) 予算要求特別枠

いみず新時代創生特別枠

未来世代に選ばれるまちづくりをさらに加速させるため、平成 30 年度に引き続き、「いみず新時代創生特別枠」を設け、現役世代等が一層輝き、活気と魅力にあふれる射水の新時代創生につながる施策（例：射水を担う人材の育成、地域資源を活用した活性化事業、高齢者や女性の活躍促進、子供たちの教育環境づくり等）について、効果的な提案を受け付ける。

行革推進特別枠

行財政改革推進の観点から、歳入創出・歳出改革の効果が高いと期待できる取組に係る一時的な財政負担については、引き続き積極的、独創的な提案を受け付ける。

4 予算編成スケジュール

8 月 30 日（木）	サマーレビュー （平成 31 年度に予定する新規事業等に係る事前協議）
11 月上旬	予算要求書の提出
1 月中旬	市長査定
2 月下旬	予算（案）の発表